

「IP 音声」の説明

【概要】

「IP 音声」は、日種さん作成の IPTalk 用の音声認識アプリです。
 Android のスマホやタブレットで簡単に使うことができます。
 Google の「Android Speech API」を使っていて、無料で利用できます。



【インストールの簡単な説明】

①「IP 音声」は、以下の URL からダウンロードできます。

<http://earch.net/ipon/>

スマホで「ダウンロード」→「インストール」という手順になるので、この URL をスマホにメールすると手間が省けます。

②スマホなどへのインストールは、ダウンロードしてスマホのメッセージに従えば ok ですが、
 スマホの「提供元不明のアプリ(を許可する)」チェックを事前に入れておくとスムーズにインストールできます。
 (「メニュー」→「本体設定」→「セキュリティー」→「提供元不明のアプリ」チェック)

【注意】インストールした後は、元通りに「提供元不明のアプリ(を許可する)」チェックを必ず外します。

機種によってはダウンロードのみで終わってしまう場合もあります。
 その場合はファイルマネージャーを立ち上げ、「ダウンロード(download)」を開き、目的のファイルをタップすると出てくる画面で、インストールのボタンをタップしてください。
 ファイルマネージャーがない機種もあるようです。その場合はファイルマネージャーのアプリを事前にインストールしておいてください。(例えば、ES ファイルエクスプローラ)

暫定版をインストールしていた方へ

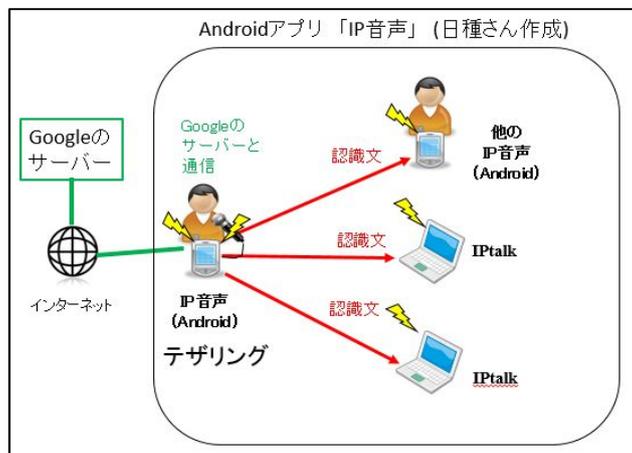
暫定版をアンインストールしてから、インストールしてください。
 上書きインストールしようとするとエラーになります。

【動作環境と操作の概要】

・【A】スマホのテザリングを使う方法と【B】WiFi ルーターを使う方法があります。

【A】スマホのテザリングを使う場合

図のように、1 台のスマホのテザリングを有効にして、パソコンや他のスマホ、タブレットを、テザリング機器に WiFi 接続します。



①スマホのテザリングを有効にします。

この時、上の図のように、スマホが公衆回線網(LTE など)でインターネットに接続できるようになっている必要があります。(つまりアンテナが立っていて、電話できる状態)

②スマホのテザリングにパソコンや他のスマホやタブレットを WiFi 接続します。

(スマホのテザリングは接続台数が 5 台と少ない場合があるので注意してください。)

③接続したパソコンで IPtalk を、スマホやタブレットで「IP 音声」を立ち上げます。→IPtalk のメンバーに入っています。

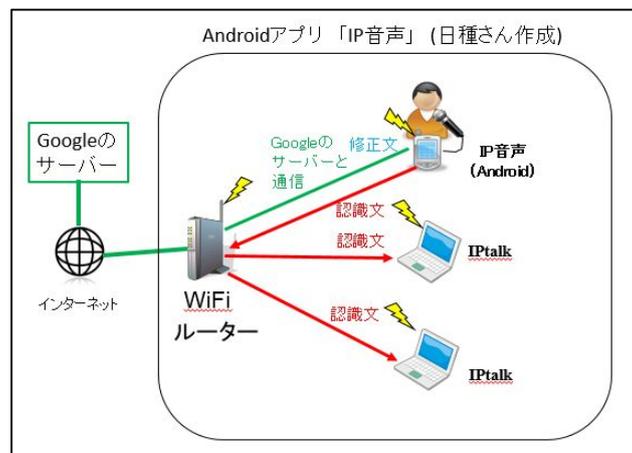
④「IP 音声」の「送信モード」を「直接送信」にします。(インストールして最初に使うときはこのモードになっています)

⑤「IP 音声」の「スタート」ボタンを押して音声認識させると IPtalk に認識文が送信されます。

(IPtalk の入力文も「IP 音声」に表示されます)

【B】WiFi ルーターを使う場合

図の様に、スマホとパソコンを同じ WiFi ルーターに接続して使います。



①スマホを WiFi ルーターに接続します。

この時、上の図のように、スマホが WiFi でインターネットに接続できるようになっている必要があります。

②同じ WiFi ルーターにパソコンを接続します。(WiFi、LAN ケーブルのどちらでも構いません。)

接続したパソコンで IPtalk を立ち上げます。

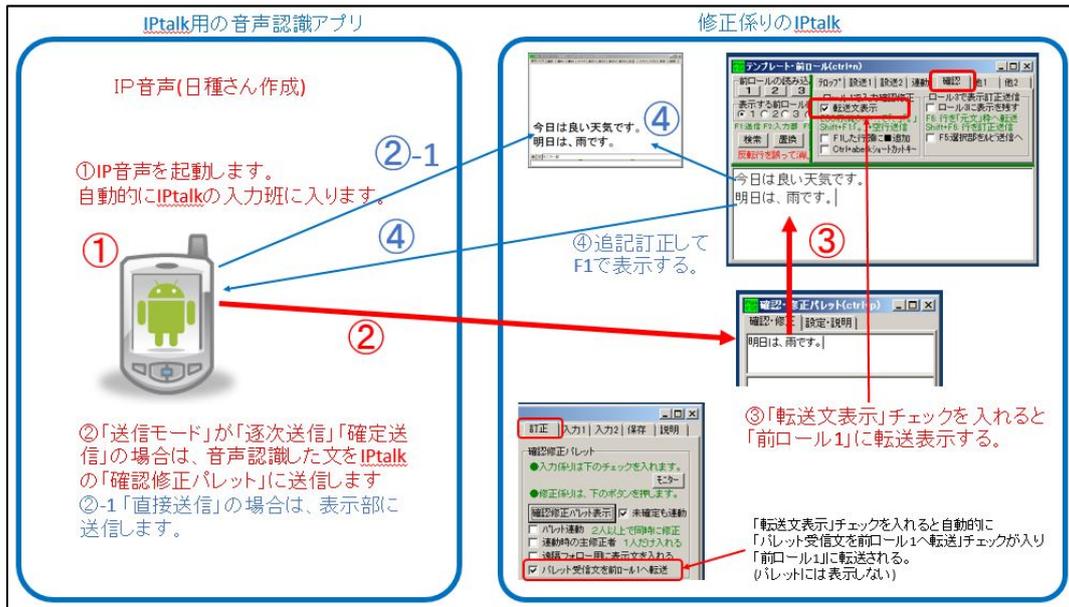
- ③スマホで、「IP 音声」を起動します。→IPtalk のメンバーに入っています。
- ④「IP 音声」の「送信モード」を「直接送信」にします。(インストールして最初に使うときはこのモードになっています)
- ⑤「IP 音声」の「スタート」ボタンを押して音声認識させると IPtalk に認識文が送信されます。(IPtalk の入力文も「IP 音声」に表示されます)

パソコン側からの「メンバーを探す」がうまく動作しないとき(スマホのメンバーが削除されてしまうようなとき)は「クラス標準のサブネットマスクではないとき」のチェックを入れてください。(iPhone をテザリング機器にしたとき発生することを確認しています)

WiFi ルーターを使う方法とテザリングを使う方法に大きな違いはありません。テザリングの場合にはテザリングした機器も他に接続した機器と同様に音声認識も IPtalk との通信も可能です。→「いろいろな接続例」を参照

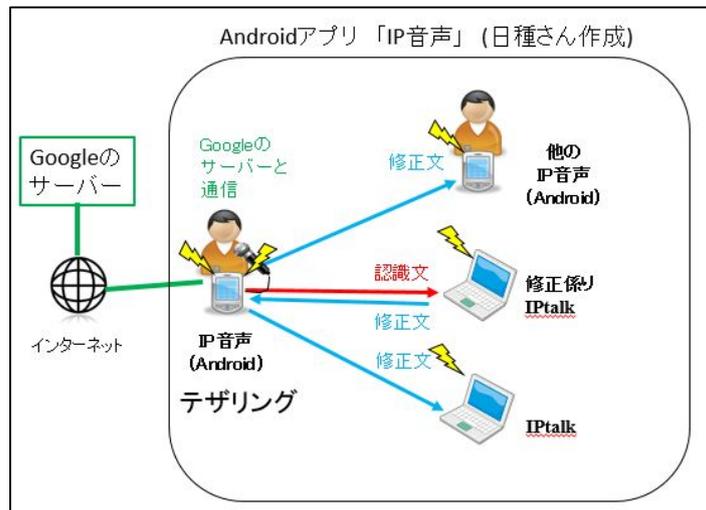
【「IP 音声」を IPtalk の「ロール 1 修正機能」で試してみる】

「IP 音声」で音声認識した文を IPtalk に送信し、テンプレート前ロールの「ロール 1 確認修正」機能を使って表示に流してみます。



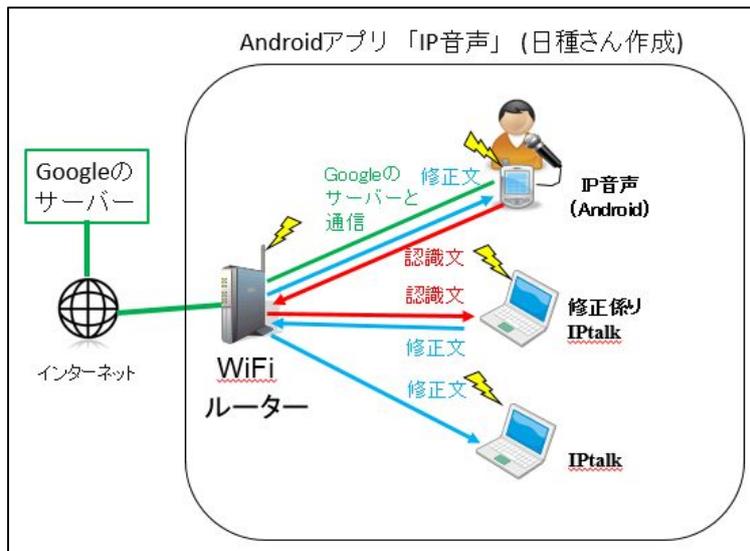
【A】スマホのテザリングを使う場合

まず、スマホのテザリングを有効にし、テザリングにパソコンや他のスマホやタブレットを WiFi 接続します。



【B】WiFi ルーターを使う場合

まず、パソコンやスマホを同じ WiFi に接続しておきます。



以下は【A】【B】とも同じ操作です。

【A】【B】

①修正係りのパソコンで IPtalk を立ち上げ、スマホで「IP 音声」を立ち上げます。

「IP 音声」が自動的に IPtalk の入力班に入ります。

②「IP 音声」の「送信モード」を「逐次送信」か「確定送信」にします。

(この状態では、「IP 音声」で音声認識した文は、「確認修正パレット」に送信されます。)

④「「テンプレート前ロール」を表示し、「確認」ページの「ロール 1 で入力確認修正」枠の「転送文表示」チェックを入れます。(「確認修正パレット」に送信されて来た文を「ロール 1」に転送するようになります。)

⑤「IP 音声」の「スタート」ボタンを押して音声認識させると、認識文が修正係りの IPtalk の「ロール 1」に入ります。

⑥修正係りのパソコンで IPtalk で、追記・訂正して F1 を押すと、入力班の全ての IPtalk と「IP 音声」に表示されます。

「逐次送信」と「確定送信」との違い

部分確定出力が可能な機種では、文章全体の認識が確定される前に、順次、部分的な認識文を得ることができます。それをそのまま送出するのが「逐次送信」、文章全体の認識が確定するのを待ってから送出するのが「確定送信」です。確定送信の方が全体の文脈を見ながらさかのぼって見直すので精度は一般によいですが、おおきな差が出ないことの方が多いです。

(部分確定出力できない機種では「逐次送信」と「確定送信」とでは違いはありません)

2～3秒ぐらいの無音があると文章全体が確定し、認識が停止します。

1秒までの短い区切りで部分確定が発生します。

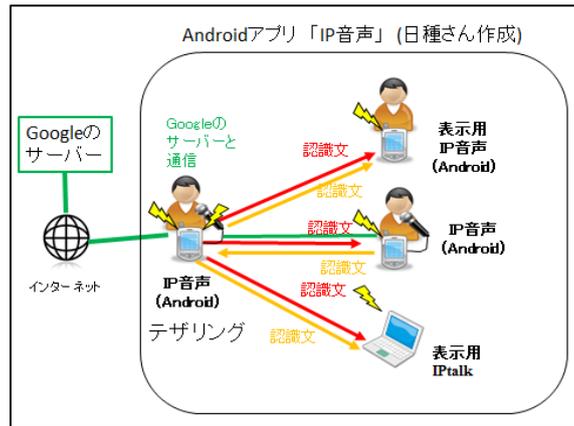
よどみのない連続的な話し方では文章全体が確定されるまで部分確定されないこともあります。

確定前の文字は8人モニターに表示されます。(「確定送信」「直接送信」の場合)

文章を確定したくないときは「えー」「あー」のような無機能語を入れると有効なようです。反対にすぐさま確定させたい場合は停止ボタンをタップしてください。

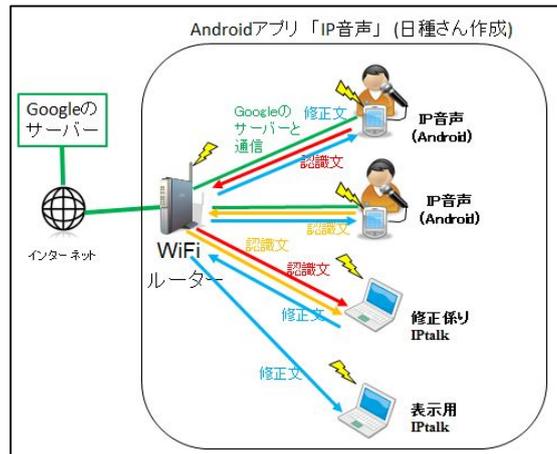
【いろいろな接続例】

①「直接送信」で、テザリングしたスマホで音声認識をして、WiFi 接続したもう 1 台のスマホでも音声認識し、WiFi 接続したパソコンの IPtalk とスマホ(3 台目)の IP 音声で表示する。



この例は、2 台のスマホで音声認識した文を、そのまま、スマホで見たり、IPtalk で表示しています。

②「逐次送信」「確定送信」で、WiFi ルーターに接続した 2 台のスマホで音声認識し、修正係り IPtalk で修正してから、表示用 IPtalk に送る。



この例は、2 台のスマホで音声認識した文を、訂正してから表示しています。

(WiFi ルーターをスマホのテザリングに変更することも可能です。)

【注意】

一部の古いスマホ(例:HTC12HT)では、IPtalk からの「メンバーを探す」通信を受け付けられないようです。

古いスマホ側から探せば問題ないようです。

ただ、スマホ側から探した後に、IPtalk 側から「メンバーを探す」をすると、IPtalk 側のメンバー一覧から消え、古いスマホ側はメンバーが残ります。

【ヒント】

・「IP 音声」が使用しているのは Google の「Android Speech API」です。

・認識させるたびに「スタート」ボタンを押す必要があります。

・連続認識できる機種では、しゃべり続けている限り、認識は停止しませんが、確定することはありません。

・また、2～3秒の無音で認識は自動的に停止します。

(Android6以後は連続認識しますが、それ以前の機種でも、連続認識できる機種があります)

・この Google の音声認識は無料で使用できます。